

# 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課

担当課長名：金城 博

事業名	あはごん しおひら 市道阿波根潮平線		事業区分	地方道	事業主体	沖縄県 糸満市
起終点	いとまんし あはごん 自：糸満市阿波根 いとまんし しおひら 至：糸満市潮平			延長	0.8km	
事業概要	市道阿波根潮平線は、県道那覇糸満線を起点として県道82号線に至る延長0.8kmの2車線道路拡幅事業である。地域の通勤通学路と重要な道路でもあり、整備することで地域の連携及び振興等に寄与する。					
H10年度事業化	H15年度都市計画決定 (H 年度変更)		H10年度用地着手		H12年度工事着手	
全体事業費	17億円	事業進捗率	89%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	2,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 10.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 1.8/18億円 事業費: 1.7 / 18 億円 維持管理費: 0.07/ 0.07億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 18/18億円 走行時間短縮便益: 18 / 18 億円 走行費用減少便益: 0.42/0.42億円 交通事故減少便益: 0.02/0.02億円	基準年	平成19年度	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する）</li> <li>安全な生活環境の確保（当該区間は通学路であり、自動車交通量が500台/12h以上で、学童、園児が40人以上の歩道が無い区間に設置される）</li> <li>災害への備え（幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する）</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	交通の円滑化、安全の確保及び地域振興を図るうえで、道路の早期整備が地元から要望。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等	県道那覇糸満線と県道那覇糸満線バイパスを結ぶ重要な路線であり、近年、周辺地域住宅の増加、道路整備による交通量が増加傾向にあるため、地元住民からも早期整備の要望がある。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収及び物件補償の進捗率が89%、工事の進捗率が67%であり、今後の残事業の促進を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成20年度までに用地補償を完了し、平成22年度までに工事を完了し供用開始する予定である。					
施設の構造や工法の変更等	建設発生土の利用等により、コスト削減を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額に割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。